

「協働事業の振り返り」の見直し

振り返り調査票の修正

1 振り返りを踏まえた意見交換の結果を記載

21 年度の振り返りの集計結果では、振り返りを踏まえた意見交換（課題抽出や改善案の検討など）の項目が一番数値が低かったものの、協働事業をよりよくするためには一番重要であるため、意見交換の機会を必ず設けることとし、特だしをした。

2 評価基準を 5 段階に変更

○×式（2 段階）では、評価が○に偏ってしまうため、5 段階とした。

3 振り返り項目の変更

1 の意見交換が少なかった結果を踏まえ、「協働」の特性を意識してもらうため、項目を「協働」の要素と「事業」の要素に分け、良好なパートナーシップを築くという目的を意識した項目に絞った。

振り返りを行う協働相手の変更

協働相手が個人（防犯ウォーキング等）である事業については、振り返りの意義が薄いことから、対象から外すこととする。